



城南学園幼稚園 園長室より

# 『共に育つ』

20240311 園長 太田友子

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育」



ホップ、ステップ、ジャンプ！

3月5日の啓蟄もすぎ、冷たい風の中にも春の訪れが感じられる頃となりました。

さて、園では、年長児が3月15日（金）の卒園式にむけて、証書授与の練習をしています。大好きだった先生から自分の名前を呼ばれ、大きく「はい！」と返事する姿に、確かな成長を感じさせられます。と同時に「もうすぐ本当におわかれなのだ」ととても寂しい思いがこみ上げてきます。きっと当日も立派な姿を見せてくれることでしょう。あとわずかな日々ですが、一日一日大切に過ごしたいと思っています。



「1月、2月、3月、年長さん！」を合言葉に、今年中児は憧れの年長さんになることをとても楽しみにしています。

園庭遊びの中で思いがぶつかりあっても、教師が入ることなく、自分たちで解決する姿が見られるようになりました。確実に育っている手応えを感じています。

年少児は新学級に向けて、他のクラスや学年全体で活動する経験を増やしています。テラスから2階に上がる練習も始めながら、年中さんになる期待を膨らませています。

子どもの一年間には、大人とは比べようのないほど濃密で豊かな時間が流れており、豊かな学びの連続です。これらの連続の先に、飛躍の瞬が待ち受けているのです。



## 「ちょこっとサロン」3月誕生会

3月6日（水）は3月生まれの誕生会でした、私にも3月25日生まれの孫がいます。今は中学生になり私の背丈も超すほど大きく育ってくれています。しかし、早産でしたので体が小さくて心配の連続でした。ですから3月生まれの皆さんには特別の思い入れがあります。

「サロン」では、これまで心配されてきたことをお尋ねしたのですが、初めての「サロン」にもかかわらず、皆さんが飾らずにお話くださるので、心温まるサロンとなりました。言葉が遅い、歩くのが遅い、着替え等が上手くできない、体が小さいなど心配の種は尽きません。本園では「共に育てるパートナー」として、「お子さんのいいところだけでなく、気になる場所も共に考えていく」方針ですが、ある保護者の方から「年少児の先生が（気になる場所を）見つけてくださって」とのお話がありました。心配や気になることの共有は簡単ではありません。このように好意的に受け止めていただいていたことを知り、保護者の皆さまがどれほど担任に寄せる信頼が厚いかと、改めて身の引き締まる思いがしました。

## 保護者会主催 「おわかれ会」

2月21日（水）、アリーナを会場にして、年長さんとの『おわかれ会』が開催されました。今年から全園児が参加しました。胸には手作りの「虹」のロゼッタを付けた年長児が入場しました。ゲストによる「マジックやジャグリング」、先生方の歌のプレゼント、スライドショーにと楽しい思い出が、たくさんできました。保護者会会長東様をはじめ役員・クラス委員の皆さま、子どもたちのためにご準備いただき、ありがとうございました。



## 速報 学校関係者評価委員会より

3月6日（水）、学校関係者評価委員会が開催されました。

委員の方からは、「毎年進化を続けている幼稚園に嬉しく思う」「教育の成果は見えにくいものだが、これまでの取組みが熟成の時期にきている」などのご意見をいただきました。

ここでは、本年度の教育アンケートの結果概要から、特徴的なものを報告します。詳細は、4月HPに掲載いたしますのでご覧ください。

### <概要>

子ども・保育者・保護者が「育つ幼稚園」をめざし、教育方針「小学校につながる確かな学びの基礎を培う幼児教育～豊かな遊びから確かな学びへ～」を掲げ、保護者の皆様とは「共に育てる」パートナーとして信頼関係の構築に努めながら、教育活動を実施してまいりました。

今回のアンケートの特徴として、全体的に高い肯定的な回答（強く思う）が増加しており、本園教育への理解が深まっていると感じています。

とりわけ、注目するのは、「園の教育はお子さんに合っている（4）」198名（98%）（+3%）が肯定的で、その中で「園の教育は合っていると強く思う」では、昨年度の38%から62%へと24%も伸びていることです。

次に紹介するのは保護者のお声です。

- 「インスタライブなどありのままの幼稚園を見せていただき安心するとともに、いつ誰が見ても恥じないという自信が感じられます。不祥事が多い世の中で質の高い教育を受けられていることに喜びを感じています。」
- 「教育理念にある共に育てるところで、担任の先生だけでなく園全体の先生方皆で子ども一人一人を見守って下さり、家庭までサポートして下さる心強い園です。」
- 「楽しい行事もたくさんあり親子ともども大変満足・感謝しているのですが、その分先生方の負担が大きいのではないかと勝手に心配しています。ほとんど手伝いの要請もなく、働いている方にはとっもすぐ助かる幼稚園だと思いますが、有志でお手伝いできることもあると思います。先生方の笑顔が続くようどうぞ無理をされずに声をかけてくださいね。」

今後も、子どもを真ん中にして、保育者、保護者が「共に育つ」ような幼稚園づくりに、教職員とともに励んでまいります。貴重なご意見をありがとうございました。